FBM　キャンペーン

期間限定

12月納品分まで

富士ゼロックス 最新型複合機発売！

新商品

DocuCentre-Ⅵ C2271

記念特価キャンペーン実施中！

省エネで使いやすい複合機のご案内ですぜひこの機会にご相談ください

クラウド＆モバイルとの親和性

クラウドサービスとの連携

新クラウドサービス※を介することにより、
富士ゼロックスのWorking Folderだけでなく、
主要なクラウドストレージサービスとの間で
ドキュメントの出し入れが簡単にできます。

※ 新クラウドサービスは、将来富士ゼロックスから提供される予定のサービスです。

モバイル端末との連携

モバイル端末のPrint Utilityで複合機から
スキャンイン。また、クラウドに保存された
Office文書などをPCレスでプリントできます。

複合機用機能強化アプリケーションの配信

複合機用のアプリケーション購入や
ダウンロード、インストールが富士ゼロック
スのポータルサイトから簡単に行えます。

高い生産性

スキャンの生産性向上

両面原稿の表裏を一度のスキャンで読み取るため、
効率的かつ原稿を傷めずにスキャンできます。
原稿積載枚数：130枚
スキャンスピード　片面：80枚/分
　　両面：154ページ/分※

※ 静音モードON時。静音モードOFFでは160ページ/分。

コンパクトなフィニッシャー（オプション）

内蔵型フィニッシャーで、ステープル1カ所
/2カ所を選んで、後処理までできます。

用紙対応力の強化

300g/m²までの厚紙も自動両面出力が可能
です。本体トレイからも郵便ハガキが走行可能
です。

Super EA-Ecoトナー

業界最小クラスのトナー粒径を実現、細かな
文字や細線もくっきりと印字できます。

LEDプリントヘッド

LED採用で小型化・軽量化、省エネを実現。
しかも、1,200×2,400dpiの高画質。

出力品質の安定性

大量の会議資料などを印刷しても、
でき上がりの品質に差が出ません。

長尺原稿の印刷

長尺用紙に対応、POPやポスターなども
オフィスで美しくプリントできます。

きれいなプリント

スマート節電

“使うところだけ”に通電、消費電力を低減
します。

人感センサー

近づくユーザーを人感センサーで感知して
スリープモードから自動復帰するため、
お待たせしません。

新開発トナー

従来トナーより10～15℃低い温度で定着可能なため、
消費電力を低減します。

ヘルプ機能の提供

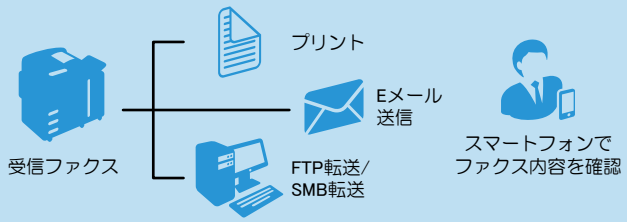
ヘルプボタンを押して使い方を確認できます。
必要な箇所をプリントしたり、モバイル機器でも
確認できるため、後ろの人を待たせません。

使いやすさと省エネを両立

複合機の活用をさらに効率化

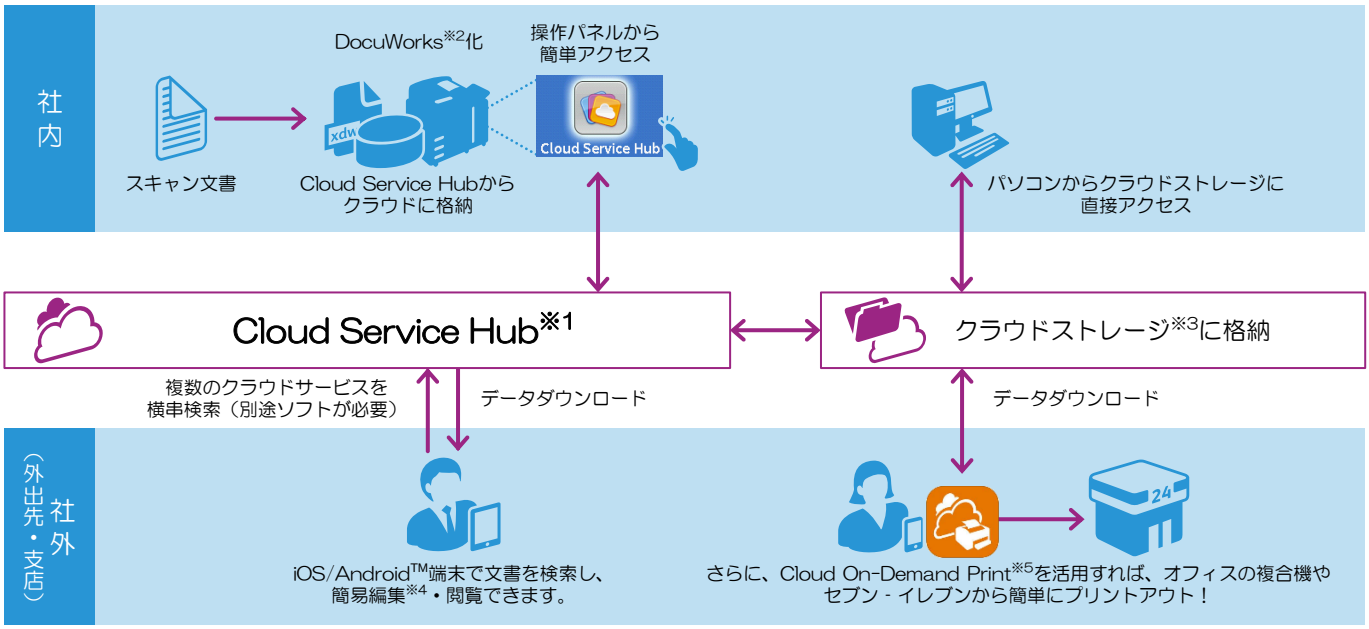
ファクス機能をペーパーレス化

ファクス受信文書を親展ボックスに蓄積し、確認後、必要な文書だけ出力することで、ムダな紙出力の削減が図れます。
また、ファクス受信文書を、プリント・メール送信・パソコンの共有フォルダー転送も可能。ファクスの内容を、外出先のスマートフォンから確認することもできます。



手軽にクラウドサービスを活用

「Cloud Service Hub※1」がお客様の使っているクラウドサービスへのアクセス許可情報を管理。一回のログインですべてのクラウドサービスが利用できます。パソコンがなくても複合機から直接、複数のクラウドサービスを横串検索したり、見つけたOffice文書を出力可能。スキャン文書をクラウドサービスの格納先を指定して保存することもできます。
また、スマートデバイスからも利用でき、いつでもどこでも普段と変わらず業務を行えます。



※1 Cloud Service Hubは、富士ゼロックスが提供するクラウドサービスです。別途、サービス契約が必要です。
※2 DocuWorksは、富士ゼロックスの別売ソフトウェアです。
※3 2016年11月現在、Box®、Dropbox®、Evernote®、Google Drive™、OneDrive®、SharePoint® Online、Working Folderに対応しています。
※4 簡易編集機能については有償となります。
※5 別途、Cloud On-Demand Printの契約が必要です。
※ ソリューションによって別途お見積りいたします。

フィニッシャーラインアップ（4種類のフィニッシャーをご用意） オプション

フィニッシャーA2	フィニッシャーB1	フィニッシャーC3/中とじフィニッシャーC3	紙折りユニットCD1

YouTube

富士ゼロックス YouTube公式チャンネル

https://www.youtube.com/user/fujixerox

スマホでQRコード®を読み取るだけで、YouTubeで動画が視聴できます。
「いまどきのコピー」で検索もできます。